

2020年9月28日

各 位

株式会社福井銀行

レンゴー株式会社向け

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」のシンジケートローンへの参加について

福井銀行（頭取 林 正博）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼 COO 川本 洋祐、以下「レンゴー」）を借入人とした「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下「本件 PIF」）のシンジケートローンに参加しましたので、お知らせいたします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスでの融資は福井銀行として初の取組みとなります。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資であり、国連環境計画金融イニシアティブ（以下、「UNEP FI」）（※1）が提唱したポジティブ・インパクト金融原則（※2）に即したもので、企業によるSDGs 達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

本件 PIF に係るインパクト評価は、シンジケートローンのアレンジャー及びエージェンツである三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 橋本 勝）が実施しております（※3）。

レンゴグループは、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の 6 つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPI レンゴーとして、“Less is more.” をキーワードとする、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献されています（※4）。

福井銀行は、本件 PIF への取組みを含め、SDGs の目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【シンジケートローンの概要】

借入人	レンゴー株式会社
契約締結日	2020年9月28日
アレンジャー／エージェンツ	三井住友信託銀行株式会社
組成金額	50億円
資金用途	運転資金
貸付人	福井銀行ほか 15 行

(※1) 国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI)

国連環境計画 (UNEP) は、1972 年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FI は、UNEP と 200 以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展と ESG (環境・社会・企業統治) への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

(※2) ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FI が 2017 年 1 月に策定した、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた金融の枠組です。企業が SDGs の達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

(※3) 2020 年 9 月 28 日付三井住友信託銀行株式会社のニュースリリースは

[こちらをご覧ください。](#)

(※4) レンゴアのウェブサイトは[こちらをご覧ください。](#)

以 上